

令和6年度 教科指導計画表

学 年	科目名	単位数	担当者名	使用教科書・副教材
第2学年	数学A	2	村田 彰介	高校数学A

育成を目指す3つの目標

知識及び技能	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
思考力・判断力・表現力	図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。
学びに向かう力、人間性	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	予 定	時 数	実 施	時 数
1 学期	1章 1節 場合の数 集合と要素の個数 順列, 組合せ, 中間考査, 期末考査	22		
2 学期	1章 2節 確率 いろいろな事象の確立, 反復試行の 確率, 条件付き確率, 期待値, 中間考査 2章 1節 三角形の性質 三角形の外心・内心・重心 2節 円の性質 円周角, 方べきの定理, 期末考査	24		
3 学期	2章 3節 作図 基本の作図 4節 空間図形 多面体, 期末考査	14		

評 価

評価の観点	評価の観点の趣旨
知識・技能	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。

評 価 方 法

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
小テスト・定期考査	定期考査・授業中の行動観察・レポート 課題	小テスト・授業中の行動観察・レポート 課題

観 点 別 評 価 パ タ ー ン と 評 定

備 考

AAA	5	ABB	4	BBB	3	BCC	2
AAB	4	BAB		BBC		CBC	
ABA		BBA		BCB		CCB	
BAA		CBB		CCC		1	

・評価の観点①②③の順である。
・左記パターン以外は、教科担当の審議により評定を出す。